新しい年を迎えるために、お寺の清掃に来てくださりました。写真に写っていない方もおりますが、どの方もとおとく、ありがたいことです。

広徳寺通信 86号

Letter from Koutokuji Temple
Since 1736

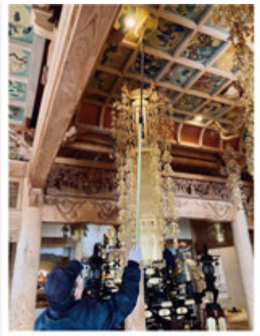
発行元 曹洞宗慈眼山広徳寺
令和三年三月一日発行

松に古今の色なく 竹に上下の節あり

（『禅林句集』より）

歳あらたまり、お参り先の仏間の掛け軸にこの言葉がありました。今年の冬は特別寒くまた雪も多いです。そんな冬の寒さにもめげず、こんもりと降り積む雪に枝をたわませながらもしなやかに、境内の松はその葉を緑にさせています。松は生まれてから枯れるまでずっとその葉を緑にたもつ。ですが、去年のちょうどクリスマスの朝、大風が吹きたくさんの茶色い松葉が境内中に散っているのを見て驚きました。（一見すると緑におおわれたこの松のどこに枯れ葉があるのだろう…）。常に緑に見えていても、その裏側では葉の生まれ変わりがたえず繰り返されている。私たちの人生もまた、一見すると毎日同じ顔で同じような声をして同じような一日が繰り返されているような気になってしまいますが、刻一刻と細胞が生まれ変わり死に変わりしている。気づいたら死んでました、とならないように、竹のように節をつけ、我がいのちを大切に運んでまいりましょう。合掌。

冬のお寺のようす

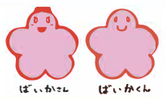


十二月の忘年会、一月の護持会総会での新年会は新型コロナ感染拡大防止のため中止。それでも歳末恒例の餅つき、大掃除に成年会・婦人会の方が来てくれました。ありがたいことです。元旦の御祈祷には参拝者はお一人と少なかったですが、行持としてお勤めさせていただきました。

今年の冬は冷え込み雪も多いです。除雪の毎日ですが、それでもお墓参りに来られる方の足跡が絶えません。

梅花流詠讃歌

一緒にお唱えしてみませんか？



御詠歌は心の安らぎです。
初めての方でも安心ですよ。

寺こや

子どもが子どもらしく遊び学べる場所を。

「寺こや」のLINE公式アカウントを作りましたよ！境内で遊ぶ日時のご連絡をしますのでご希望の方はこちらのQRコードから登録ください。

QRコード

朝のお勤め

毎朝6時40分

朝、本堂でお参り ご一緒に……

20分程度です。
お気軽にどうぞ。

お寺でボディメイク

かんたん体操してみませんか？

3月20日 / 4月10日 / 5月15日
参加費 1,000円（割引有）　土曜日夜6時半

※ 予約制ですのでお電話下さい。

新型コロナウィルス感染防止対策として、行事の参加にはマスクの着用をお勧めしております。各行事はソーシャルディスタンスを考慮した内容としております。体調不調ある方は、行事の参加をお控えください。感染状況を鑑みて行事を中止する場合もございます。

お寺の食材を地域にめぐらす

昨年秋にプレオープンしてすぐ、コロナのために活動休止となっている「地域食堂まんまる」。多世代が集い一緒にご飯を食べ絆を深めることが目的でしたが、今の状況では開催できません。ですが、休止中にもかかわらず、全国で広がりを見せている「子ども食堂」の活動事例として報告する機会がありました。テレビニュースや新聞でご覧くださった方もいらっしゃるかともしれません。

お寺はたくさんの寄付が集まるところ。日頃、お布施をはじめ、農家さんからはお野菜、またご法事ではお菓子などの引き出物、飲み物から調味料に至るまで多くのものをいただき、お寺のものは生活させていただいています。ありがとうございます。

もちろん、お寺参りやさまざまな行事でも使うのですが、コロナ禍でそれもうまくいかず。フードロス削減への取り組みにお寺の食材をどうすれば活かす試みに取り組んでいます。さしあたって、道南フードバンク協議会の中森さんにお渡しし、ひとり親世代や更生保護施設、ウイメンズネット函館（DVシェルター等運営）、児童養護施設などに届く活動をしています。

SDGs（エスディージーズ）で世界的な目標としてその第一に「貧困をなくそう」という取り組みがあります。お寺の諸行事で使用される多くの食材が無駄にならないように、必要な人に必要な分だけ届くように、何かできないかと現在模索中です。出来ることから一歩ずつ歩みを止めず進んでいきたいと思いますので宜しくお願いします！

お寺でのこのような活動に協力していただける方、どうぞお声掛けくださいませ。

お寺を会場にした「地域食堂まんまる」の事例報告を寺族の髙橋佑実が行いました。

道南フードバンク協議会の中森さん。法事やお葬儀などお寺に寄せられた食材を手渡します。

山門建築工事が始まっています

山門工事を施工する業者が京都の宮大工（株式会社暁）に決まりすでに工事がスタートしています。といっても、実際に広徳寺境内の現場での工事が始まるのは今年の六月ごろから。それまでは木材の材料加工や彫刻工事が作業場の方でされています。予定では、五月連休明けにイチョウ・松の移植、六月に土台となる石工事、七月に現在の地蔵舎の解体、山門の新築工事はお盆明けとなります。今年の十一月に完成となります。この工事に合わせ、参道をふくめた外溝工事も進行できればと考えています。お盆には少しにぎやかな境内になっていると思います。お参りにはご迷惑おかけしますが宜しくお願いいたします。

1月山門工事請負業者「（株）暁」との契約。

中学校で職業講話

二月九日（火）函館市深堀中学校で職業講話をさせていただく機会がありました。私の他、お菓子屋さんや八百屋さん、保育士、旅行会社の方など六名が生徒に、お仕事のお話をしました。お坊さんがそこにいるのは異色なかんじもありましたが、生徒は真剣に耳を傾けて聞いているので話しているこちらも身がひきしまります。将来の不安と希望が混在する多感な時期ですから、話し手として責任を感じつつ、私自身のこれまでを振り返る貴重な経験となりました。たくさんの人に出会い刺激され、また支えられてお坊さんをやっていることに改めて気づかされる講話となりました。

深堀中での職業講話の様子。生徒たちの話を聞く姿勢が素晴らしく。